



夏休みボランティア「このゆびとまれっ！」



■共通事項 対象▶市内在住・在学の中学生・高校生
申し込み▶直接または電話で各センターへ。②はやまとボランティアセンター公式LINEも可。いずれも先着順。詳しくは市のホームページをごらんください。

①ベテルギウス内大和市民活動センター ☎(260)2586

内容	ところ
こども食堂の手伝い	・たまめし食堂北ランチ(鶴間1-21-19眞壁ビル3階) ・たまめし食堂南ランチ(福田3602-42 カーサ ララ マリノ) ・わにわに食堂(桜森3-4-13桜森スクエアⅢ)
放課後デイサービスの手伝い	NPO法人サポートハウス ワン・ピース(下鶴間2777-5 コンフォール鶴間6号棟1階)
子育てサロンの手伝い	子育てほっとサロン「大和たんぼの会」(南林間7-4-1)
視覚障がい者の卓球の手伝い	保健福祉センター
デイサービス施設の手伝い	・愛の家大和高座渋谷(渋谷7-24-1) ・デイサービスハッピー鶴間(西鶴間1-11-5) ・ゆらり倶楽部大和(中央6-12-4)
ベテルギウス交流カフェの手伝い	ベテルギウス内大和市民活動センター

申し込み期限▶いずれも7月11日(土)(日曜日休館)。
※オリエンテーションを7月18日(土)午後2時~4時にベテルギウス内大和市民活動センターで実施。

②保健福祉センター内やまとボランティアセンター ☎(260)5643

内容	ところ
市立保育園などでの保育体験活動	市立保育園など
高齢者施設で車椅子の清掃活動	・晃風園(草柳2-15-1) ・敬愛の園(福田1551) ・和喜園(下和田822-1)
障がい者施設の手伝い	やまねっと各事業所
子育て施設体験活動	まごころ地域福祉センター
デイサービス体験活動	まごころ地域福祉センター

申し込み期限▶いずれも7月9日(木)(日曜日・祝日休館)。
※オリエンテーションを7月24日(金)午前10時~正午に保健福祉センターで実施。

③つきみ野学習センター図書室 ☎(275)7895

■書架の整理や返却本の配架をする 図書ボランティア入門

1日2時間単位で3回。
ところ▶つきみ野学習センター図書室
申し込み期限▶7月13日(月)。
※オリエンテーションを7月19日(日)午前9時30~11時30分に同センターで実施。



こどもタウン ミーティングを 開催

小学生・中学生の皆さんと市長が対話する、こどもタウンミーティングを開催します。「大和市の未来を住みたいまちって、どんなまち」をテーマに、みんなでアイデアを出して、市長に直接伝えてみませんか。

とき▶①小学生の部:8月9日(日)午前10時30分~11時30分
・②中学生の部:17日(月)いずれも午前10時30分~11時30分
ところ▶シリウス6階生涯学習センター

対象▶市内在住・在学の①小学生(保護者同伴)、②中学生
定員▶各先着20人
申し込み▶①8月6日(木)・②13日(木)までに市のホームページから電子申請で。市役所マーケティング課へ直接または電話も可。



市役所マーケティング課広聴・マーケティング係 ☎(260)5124 FAX(261)4592

子どもを知ること、向き合い方が変わる 教育研究所主催の講演会

■共通事項
ところ▶渋谷学習センター
申し込み▶①7月17日(金)・②22日(水)・③29日(水)までに電子申請で。電話で教育研究所へも可。

①「コミュニケーションは「OO」が大切」
〜ちょっとした工夫で変わる子どもとの関係づくり

臨床心理士の育成に携わった講師から、発達特性に応じた「コミュニケーション」や、子どもへの具体的な関わり方を学びます。青少年健全育成講演会兼教育講演会として開催。
とき▶7月23日(木)午後2時~4時30分

定員▶先着100人
講師▶越谷心理支援センター 顧問 秋山邦久氏。



②「子どもを守るために大人が知っておきたいこと」
〜少年鑑別所心理職からのメッセージ

罪を犯した子どもたちと少年鑑別所で日々向き合う心理専門職の講師を迎えます。子どもを取り巻く現状や実際のケースを通して、トラブルから守るための視点や関わり方を学びます。

とき▶7月24日(金)午後2時~4時30分
定員▶先着30人
講師▶横浜少年鑑別所地域非行防止調整官。



③「新生児医によるいのちの授業」
〜ドラマ「ウノドリ」の現場から

命が誕生する「奇跡」を描いたドラマ「ウノドリ」の医療監修を務め、現在も新生児集中治療室で日々命と向き合う医師を講師に迎えます。手のひらに乗るほど小さく生まれた赤ちゃんたちが教えてくれる、生きることの純粋な強さと、奇跡を支える家族の絆。医療現場の最前線から、命の尊厳と奇跡を語ります。
とき▶8月5日(水)午後2時~4時10分

定員▶先着100人
講師▶県立こども医療センター 新生児科部長 豊島勝昭氏。



市教育委員会教育研究所教育研究係 ☎(260)5213 FAX(263)9832

産後ケアを利用してみませんか

市は、出産後に安心して子育てができるよう、母親の心身のケアと育児のサポートをする事業を実施しています。医療機関などでの休息、授乳・育児などの指導や助産師などによるケアを受けられる宿泊型・通所型と、助産師が自宅を訪問し、相談やアドバイスを受けられる訪問型があります。

内容▶母親の体と心のケア、授乳や沐浴などの育児相談、おっぱいに関するケアや相談、宿泊型・通所型は食事とおやつ提供(医療行為や託児はしません)

対象▶宿泊型・通所型:生後4か月になる前日まで(妊娠37週未満で出産した人は、出産予定日を基準に算出)、訪問型:生後1歳になる前日まで

■利用までの流れ

①妊娠8か月(28週0日)以降、申請書を直接または郵送で〒242-1860 保健福祉センターへ送付してください(申請書は市のホームページからダウンロードできます。郵送の場合、体調などの確認のため、同課から連絡します)。
②申請から1週間程度で「産後ケア事業費用助成利用承認通知書」「産後ケア事業費用助成券(情報提供書)」を市から郵送。



③電話で希望する施設へ予約。
費用▶宿泊型:1泊2日5,400円(1日追加ごとに2,400円)。
別途食費負担、通所型:6時間1,800円(別途食費負担)、訪問型:90分以内800円
利用回数▶宿泊・通所:訪問合計で1人7回まで。
※利用できる施設など、詳しくは市のホームページをごらんになるか、お問い合わせください。

保健福祉センターへ送付してください
〒242-1860 FAX(264)0202